

1 業務全般の運営計画

(3) 広報活動・地域との関わりについて

① 図書館利用の促進に向けた広報活動・館内等の工夫

01 利用促進のための広報活動の考え方

私たちは、より多くの区民に図書館をご活用いただくため、広報活動の強化に取り組みます。既存利用者には、何度も足を運びたいくなるような館内PRの工夫、未利用者に向けては、図書館の活動を知り、興味を持っていただくような仕掛けなど、ターゲットに合わせた戦略的な広報を心掛けます。また、地域のいたるところで図書館の活動をお伝えいただけるよう、地域人材や団体との連携を深め協働することで、より効果的・効率的な広報を展開してまいります。

□ 年間広報計画

1年間を通してどのような広報活動を行うのかを定めた「年間広報計画」を作成します。お知らせしたい内容ごとに優先度をつけ、効果的な媒体・方法等を戦略的に検討・決定します。

また、年度途中で中間の見直しを行い、1月から3月にかけて年間を通しての見直しと、次年度の方針を決定するといったPDCAサイクルを行うことで効果的な広報を行います。

発信内容

- 図書館サービスの紹介
- イベントPR
- 新刊本の紹介
- 展示のPR
- 地域情報の発信

02 SNSの活用

SNSはサービスごとに特徴や利用者層が異なるため、それらの特徴を把握し、ツールを使い分けることによって、効果的な情報を発信していきます。

□ ソーシャルメディアポリシー

SNSを運用していくうえで、予期しない事象が発生しうる可能性があります。そのような事象を防ぐため、ソーシャルメディアポリシーを定め、SNSの適切な管理・運用を行います。内容については世田谷区様と協議し、適宜見直しを行います。

□ Instagramの運用-ブランディング構築-

ブランディングには、建物の魅力や周囲の風景、サービスの、図書館機器などを視覚的に訴求しつつ、イメージと認知度を向上させることが重要です。そのため、写真をメインで扱うInstagramが適していると考えます。



□ Facebook

Facebookは現実の人間関係をもとにならるユーザーが多いため、口コミのように情報が伝播する特性に期待できます。

□ Twitter

10代～20代の若年層の利用が多く、ティーンズ世代への情報発信手段として効果が期待できます。

1 業務全般の運営計画

(3) 広報活動・地域との関わりについて

① 図書館利用の促進に向けた広報活動・館内等の工夫

□ SNSによる「発信したくなる」イベント企画

「SNSで発信したい」としてもらえるように、「写真を投稿したくなる図書館体験」をテーマにイベントを企画します。区民に企画を周知し、図書館への興味関心を喚起し、来館につなげることを目的とします。

企画イメージ あなたの読書風景を投稿しよう！



03 印刷物等による広報

□ ポスター・チラシの掲示・配布

イベントや新サービスの告知には、わかりやすく内容をイメージしやすいポスター・チラシを作成します。掲示するポスターの脇にはできるだけチラシも設置し、気になる掲示を見かけたらすぐお持ち帰りいただけるよう工夫します。



□ 魅力的な図書館だよりの作成・配布

「読みたくなる」「持って帰りたくなる」「人に教えたいくなる」ように、訴求力ある魅力的な図書館だよりを作成します。関連機関とも連携して館外での配布にも注力し、地域における図書館の存在感を高めていきます。



□ デジタルサイネージの活用

作成したポスターやチラシは、館内のデジタルサイネージによる発信にも転用・活用します。また、より利用者の興味・関心をひくため、動画等も組み込んだサイネージ専用のコンテンツも作成し、効果を高めます。



04 地元商店街・地域企業との連携による広報活動

地元商店街や地域企業と連携し、地域の産業、工芸、食文化等について理解を深めることを目的としたイベントを実施し、同時に図書館の情報発信にも役立てます。

図書館

・地元商店等、地域人材と連携した文化・教養講座等の開催

・地域の産業、技術等の紹介、活動展示



相互連携
情報発信

商店街・地元企業

・連携イベントのチラシ配布・ポスター掲示

・図書館だよりや各種案内の配布



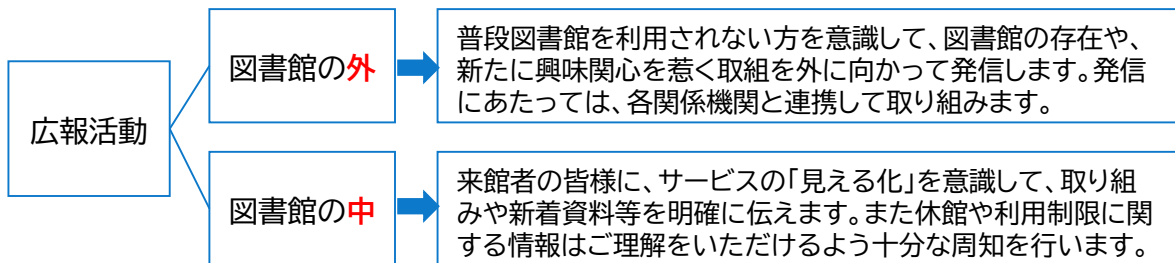
1 業務全般の運営計画

(3) 広報活動・地域との関わりについて

① 図書館利用の促進に向けた広報活動・館内等の工夫

05 図書館内・外の情報発信の全体像

一人でも多くの区民の皆様には図書館の活動を公平・平等にご利用いただけるよう、図書館の内・外にあるあらゆる手段、方法を検討し、戦略的な広報計画を立案・実施してまいります。



□ 図書館の外



□ 図書館の中

掲示物・サイン	告知ちらし	図書館だより
<p>テーマカラーを決め、フォントを統一し、すっきりわかりやすく伝えます。</p>	<p>両面印刷とし、裏面には図書館からのご案内や図書館地図を掲載します。</p>	<p>図書館の新刊・おすすめ情報だけでなく、地域情報なども入れた広報誌を作成・配布します。</p>

1 業務全般の運営計画

(3) 広報活動・地域との関わりについて

② 地域ボランティア及び団体等との協働関係

01 図書館事業におけるボランティアとの協働について

図書館でボランティア活動をされる区民の皆さまは、私たちにとって最も身近で、ともに図書館の成長のために協働していただけるパートナーであると考えます。

世田谷区立図書館ビジョンの行動計画の視点として掲げられている「地域文化」の発展と「コミュニティ」の形成のためにも、ボランティアとの協働が不可欠です。

経堂図書館は開館してからこれまで、子ども向けおはなし会や大人の朗読会での読み聞かせをはじめ、視覚障害者の方々への対面朗読など、あらゆる場面で活動に熱意をもって取り組んでくださるボランティアの皆様に支えられてきました。今後も図書館サービスのさらなる向上のためお互いに協力し、発展できる関係性を築き上げていけたらと考えております。

これからも積極的に地域のボランティアの皆さんと連携して、図書館を舞台に地域の活性化とサービスの向上にともに取り組んでまいります。

02 ボランティア活動の整備・支援の取り組み

これまで経堂図書館で開催されてきたボランティアとの連携事業は、今後も継続して取り組んでまいります。長期化するコロナ禍により、事業の実施がままならない状況のなか、ボランティアの皆様には快いご理解ご協力をいただいています。このような良好な関係と強固な信頼関係を今後も育んでゆくとともに、新たなボランティア活動への支援にも取り組んでまいります。

□ これまでの連携事業の継続と発展

現在経堂図書館において活動されているボランティアとの協力関係を継続し、おはなし会の演目等を組み立てていきます。また、コロナ対策として図書館近隣の区民施設を活用するなど、おはなし会の開催場所も広がっています。今後、経堂図書館内のおはなしの部屋を基点にしながら、地域に出て行くおはなし会も視野に入れ、コロナ禍で中止している「デイホーム赤堤」の出張朗読会も、収束の見通しが立ち次第ご相談の上、再開いたします。

現在の経堂図書館の行事

事業	ボランティア	主な対象年齢	実施日
1 おはなし会	(ボランティア・職員計2～3名)	1歳～就学前 3歳～低学年	毎週金曜 11:00～ 毎週水曜 15:00～
2 大人の朗読会	(ボランティア・職員計2～3名)	一般	毎週木曜 11:00～ ※第1週目は偶数月のみ
3 デイホーム赤堤 出張朗読会	(ボランティア・職員計2～3名)	デイホーム利用者	毎月第1・3週金曜日 13:00～

1 業務全般の運営計画

(3) 広報活動・地域との関わりについて

② 地域ボランティア及び団体等との協働関係

□ 新たなボランティアの募集

おはなし会や図書の修理、配架など、図書館内で活躍する機会を創出します。幅広い属性の方々の多様な目的による社会参加を促します。区報等で募集をし、ボランティア講習を受講していただきます。募集にあたっては、事前に世田谷区様にご相談のうえ、進めてまいります。

《新たなボランティア募集活動案》

- おはなし会：絵本の読み聞かせ、わらべ歌、手遊びなど実演
- 障害者サービス：音訳、点訳、手話など
- 展示・装飾：季節の展示作成や児童コーナー装飾
- 書架整理・修理修復：書架整理や、要修理資料の修復作業など
- グリーンボランティア：館外設置の鉢植え、緑化等への協力

「整理整頓ボランティア」

スタッフ実施が大前提ですが、利用の多い館ですので、少しでも整理の行き届いた棚づくりにご活躍いただきます。



□ 学生ボランティアの募集

東京農業大等の連携により、大学生のボランティアを募り、図書館運営に貢献していただきます。例えば、ティーンズ向け企画展示で、大学生のセンスと個性を活かした素敵なオリジナルPOPと共にティーンズに本を紹介・展示します。



□ ボランティア講習会

ボランティア活動を始められた方、そして今後も活動を続けてくださる方のために、ご要望に応じてブックスタートや読み聞かせ等をはじめとするスキルアップのためのボランティア講習会を実施します。

また、参加者同士で交流を深めることで、学びに対する意欲をより高めることが可能となるため、全体のレベルアップも期待できます。

□ ボランティア交流会

ボランティア活動の広がりやコミュニティ形成に向けて、ボランティア交流会を開催します。お互いのスキルやノウハウの交換につながり、モチベーションを高めていただくことができます。交流会には図書館スタッフも参加し、親交を深めます。

□ ボランティア活動の紹介

活動内容について紹介するパネルを作成し、館内に掲示することによって、参加希望者の掘り起こしを狙います。また、ボランティア自身の活動への顕彰の機会とし、以降の活動のモチベーション向上を図ることで、地域交流の活性化を目指します。

2 事業提案書

- ① 区民（利用者）により一層親しまれ、利用度・利便性の高い公共施設にしていくための経堂図書館らしい取組み

01 ビジネスコーナーの機能拡充

2017年のリニューアルより、館内には読書や調査研究する機能、閲覧席が充実した「ビジネスコーナー」が整備され、それによって、世田谷区立図書館の基本方針の一つでもある「大人の学び」が充実しました。

現在はインターネット閲覧端末5席のほか、座席管理システムを導入した受付制閲覧席12席を設けています。利用時間の選択と予約が可能のため、満席の場合も待ち時間を有効に使うことが出来ます。読書のほか、資料を使った調べものや持ち込みパソコンも使用できるため、学生やビジネスパーソンが利用する姿もみられます。

今後はさらなる利用度、利便性を高めるため、少しでも調べたい方の「短時間利用」を促進し、世田谷区様にご相談の上、気軽に利用できる運用へと変更することを提案します。例えば、受付制閲覧席を10分、15分の短時間利用を可能にするほか、機能の充実や向上を図るために、インターネット閲覧端末からのプリントアウトサービスを可能にします。これによって、これまで出来なかった商用データベースからのプリントアウトも可能になります。

① ビジネス資料コーナー

□ 就活資料・レファレンス資料の充実

ビジネスコーナーには「ビジネス関連資料」を収集しており、特に「就職活動」に役立つ資料を集めます。今後はさらに、企業・団体情報、人物情報、業界情報、統計・各種データ資料、海外情報などのビジネスレファレンスに役立つ資料提案、区内企業のパンフレット、CSRの取組報告書、社史などの収集もおこないます。

また、ビジネスや仕事探しなどに役に立つテーマ等の図書展示を行います。最新の情報や地域の情報は関連機関からパンフレット等を取り寄せ、配布します



受付制ビジネス閲覧席



インターネット閲覧端末



就職情報コーナー



就職情報・チラシ



ビジネスコーナー展示

2 事業提案書

① 区民（利用者）により一層親しまれ、利用度・利便性の高い公共施設にしていくための経堂図書館らしい取り組み

② ビジネスレファレンス

ビジネスに関するレファレンスに図書館員が調査をお手伝いします。区立図書館の資料を始めインターネットや商用データベースを活用して調査を行います。また、ビジネスレファレンス事例を区内図書館ほか、他のビジネス支援図書館や国立国会図書館などから紹介し調査に役立てます。

ファッションビジネス講座

③ オンラインも活用した多様なテーマのビジネス支援事業

ビジネス支援事業として、ビジネスコーナーを会場に「起業入門セミナー」や「行政書士の仕事講座」「ファッションビジネス講座」などを開催し好評をいただきました。このような参加型のセミナーを継続するにあたり、新型コロナウイルスの対策を講じて、近隣の区民施設の活用やオンライン講座など、図書館のノウハウを活かして取り組んでまいります。

起業入門セミナー

④ 多様な働き方に応える就職支援事業

これまで「世田谷区産業支援公社(三茶おしごとカフェ)」と連携をとり、図書館にキャリアカウンセラーが出張して利用者の就労相談にのる「おしごと相談」事業を行ってまいりました。今後はさらにきめ細かなサービスを目指し、相談者の属性や、ケース別の相談会も行います。コロナ禍ではオンライン開催も検討いたします。

キャリアカウンセラーによる「おしごと相談」

□ 三茶おしごとカフェ×経堂図書館連携事業

■ 子育て世代への就労支援

図書館で実施するイベントと共催することにより、乳幼児連れで参加しやすい相談会を実現します。子育て世代の就職支援につなげることを目的として、本の読み聞かせや手遊びとともに、三茶おしごとカフェの利用案内、就職支援内容の説明、就職活動のアドバイスを実施します。子どもと一緒に参加できるので、気軽に参加してもらうことがねらいです。

■ 個人経営者のための講座や相談会

近隣商店街等の個人経営者を対象とし、三茶おしごとカフェからカウンセラーが出張して相談会を開催します。開催時間は夜間にする等、相談者に合わせた時間帯を設定します。

■ シニア向けの就職相談会

全国でも高齢者の就業率は25.1%と「4人に1人」に達するなか、世田谷区でも65歳以上の高齢者層は総人口の20%を超えており、生涯現役として就労を希望する高齢者の増加も今後予測されます。図書館という多くの方が訪れる場所で、高齢者を対象とした就労相談会を行うことで、働きたい希望に一步踏み出す機会を演出します。

2 事業提案書

- ① 区民（利用者）により一層親しまれ、利用度・利便性の高い公共施設にしていくための経堂図書館らしい取組み

02 滞在型要素を取り入れたサービス

立ち寄り利用だけではなく、特にひとり世帯の高齢者に対してなど、ゆっくり調べものをしたり、読書をしたり、居心地よく過ごせる場所としてもご利用いただけるよう、滞在型サービスの充実も図るほか、共通の趣味を持つ地域の方がつながる拠点としても機能させてまいります。

□ 区民による地域史・自分史をつくるワークショップ

参加型の生涯学習促進事業として、区民が自身で所有する地域にかかわる写真や資料を持ち寄ってもらい、オリジナルの地域史や自分史をつくるワークショップを開催します。

試行錯誤の中で自然と学び合いが生まれる場となり、その総合的な学びのサポートを行ってそれぞれの課題解決に導きます。また、ものづくりの中で生まれた情報交換や人々との対話によって、新たな地域コミュニティを形成する機会に結びつきます。

□ 世田谷シルバー人材センター せたがや生涯現役ネットワーク連携事業

いまや大切な生活ツールとなっているパソコンやスマートフォン、インターネット検索方法、SNSの使い方講座を「世田谷シルバー人材センター」と連携し開催します。

また、NPO・事業者・大学・行政等約52団体が連携・協力して参加の場や機会づくりの応援をしている「せたがや生涯現役ネットワーク」と協力して、様々なイベントワークショップを開催し、シニアへの活動の場も提供いたします。

□ 電子図書館の操作説明会

世田谷区電子書籍サービスのシステムを導入させていただいている事業者として、電子図書館の運営チームの支援を受けながら、館内での操作説明会や相談会を開催します。

ご自身のスマホやタブレットや、説明用に端末を複数台用意して、基本的な操作方法のご説明や音声読み上げコンテンツ等、高齢者にも利用しやすいコンテンツをご紹介して、電子図書館の利用促進を行います。



2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

01 地元商店街×図書館のコラボ企画

経堂図書館周辺には5つの商店街があり、古くから街に根ざした老舗店舗から、新しいお店までが軒を連ね、活気に溢れています。経堂図書館では、商店街合同消防訓練など商店街のイベント情報を図書館広報誌やデジタルサイネージで広報することや、商工会が作成された商店街ガイドマップを配布する等の連携と協力を行ってまいりました。



商店街マップの紹介



商店街経堂防災訓練をデジタルサイネージで告知

今後は、図書館から商店街情報の発信をより幅広くすすめ、商店街の催事情報や求人情報などのタイムリーな情報発信や、商店街の歴史などを図書資料と大宅壮一文庫の雑誌記事からセレクトした展示を行います。また、図書館で商店街のクーポン券を配布する等、商店街と図書館の相互の利用促進を図ります。さらに、下記のような地元商店街との新たな取組みを実施し、これまで以上に人と人、人と情報が出会い、街の賑わいを創出し、新たな文化を発信する役割を担ってまいります。

① 商店街店主たちのおすすめ本コーナー展示

商店街の店主(または店員)におすすめ本を紹介していただき、店舗情報やおすすめ商品・メニューの紹介とともに館内展示を行います。本を通じてお店紹介をすることで、利用者にお店を身近に感じていただきます。



② まちじゅう図書館

商店会に協力いただき「まちじゅう図書館」の実施を提案します。商店街の店舗が「図書館」となり、それぞれの商い等関連した本やリサイクル本を段ボールひと箱程度置いて人々が自由に読むことができるようにするものです。本と出会う場を図書館以外にも作ることで、本を通じた地域のコミュニティ形成や活性化につなげるのが期待できます。実施している店舗を載せた地図がついたリーフレットを作成し、配布します。



③ 店舗または図書館でイベント開催

- ・珈琲店×図書館(珈琲の淹れ方と珈琲にまつわる物語の朗読)
- ・インドカレー店×図書館(スパイス講座と世界のカレー等のブックトーク)
- ・果物屋×図書館(果物豆知識講座と果物が出来るまでブックトーク)
- ・パン屋×図書館(パン作り、発酵の話ブックトーク)

2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

④ ライブラリーブックサーカスの開催

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、図書館でのイベントは、参加人数を制限したり、オンラインでの開催に切り替えたりすることを余儀なくされ、人と人、人と情報が出合い、まちの賑わいを創出し、新たな文化を発信する場としての図書館の機能を発揮しづらい状況が続いています。

そこで私たちは、コロナ禍でも安心して開催でき、参加者も充実感を得られるオフラインのイベントを目指し、「ライブラリーブックサーカス」を全国の受託図書館で開催しています。

下記の目的・イベント内容で、経堂図書館と商店街を中心として経堂地区においても展開し、新しい交流や地域文化の創発を促進してまいります。



□ 目的・コンセプト

Library Book Circus

読むサーカスは、まちからまちへ。

ライブラリーブックサーカスは、“読むサーカス”です。

図書館にある本の一冊一冊を曲芸師に見立てると図書館は、まるでサーカスのようです。

まちからまちへサーカスは現れ、本の魅力を体感できるイベントを開催します。

イベントに参加することで、新たな本の魅力を発見し、本との新たな関わり方を見出します。

□ ライブラリーブックサーカスの3つの特徴

2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

□ イベント内容

■ 経堂を知る10のキーワード選書

■ 特産品展示

■ 教えて司書さん！

■ 経堂のくらし座談会

■ チケット型メッセージカードの展示

参加者に街の好きなお店や図書館での思い出、イベントの感想などを記入してもらい、展示します。メッセージカードを書いた参加者に地元特産品をプレゼントします。



2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

02 学校教育(学校図書館)との連携強化

① 図書館から学校への訪問

□ タブレットを使った図書館利用講座

教育現場のDXに対応した支援として、生徒たちのタブレットでの図書館利用(HP利用方法、資料検索、予約、HP掲載のブックリストやパスファインダー、図書館新聞の活用など)講座を実施します。



□ ブックトーク

学習支援として、教科書の単元の内容でブックトークを行います。特に、世田谷区独自の教科「日本語」は「哲学」「表現」「日本文化」について、図書館資料を使って支援します。また、読書支援として、ブックトークのテーマに関連したブックリストの配布を行います。



ブックトークの様子

□ ビブリオバトル

お気に入りの本を紹介し、どの本が読みたくなったか聴衆の投票で競い合うビブリオバトルを学校で開催します。すでに取り組んでいる学校へは、バトルで優勝した本などを図書館でも紹介・展示を行うことで、学校の取組みを地域にも広く伝えます。

□ 調べ学習支援

調べ学習をすすめる方法、図鑑等における目次や索引の使い方、公共図書館の利用方法を教えるなどの支援を行います。また、図書館にある「どの本で調べられるか」を案内する、テーマ別のパスファインダーを作成し、学校図書館と公共図書館の相互活用を促進します。

経堂図書館作成
テーマ別パスファインダー

2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

□ ブックホスピタル

休み時間や放課後、学校行事に出張し、破損した本を使用して図書の修理方法を教えます。本を大切に扱うことへの啓発につながります。

□ 小中学生へ向けた読み聞かせ講座の開催

小学校高学年から低学年へ、中学生から小学生へ向けて読み聞かせる取組みが実施されています。図書館司書が、児童・生徒向けに読み聞かせ方法を教え、上手に読み聞かせができるよう、みんなで楽しく練習します。

読み聞かせ練習の様子

② 学校から図書館へ訪問

□ 司書体験

展示コーナーを作成、おすすめ本のPOPを作成してもらいます。学校の職業体験や夏休みの課題と合わせて実施します。



司書体験の生徒によるおすすめ本展示

□ 読書会

事前に課題図書を決めて参加者はその本を読んでから参加します。その本についてお互いに感想を話し合い、他者の意見を聞き自分の感想を伝えることで、聞く力と表現力を養います。

2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

03 地域と人、本をつなぐ連携事業

① 東京農業大学との連携事業

図書館を通して東京農大の取組みを広く地域の方々に知っていただくことを目的として、経堂図書館では、東京農大との連携事業を開催しています。今後も、「食と農に関する身近な話題」や「生き物を通して好奇心を育てる」こと等をテーマに、子どもから大人まで、図書館を使って「調べる・発表する」ことへつながる取組みを行ってまいります。また、東京農業大学図書館とも交流し、農大図書館や教授、学生からの推薦図書や経堂図書館からの本紹介など、相互連携を企画してまいります。

以下は、東京農業大学との連携実績です。

□ 講座「日本の酒 世界の酒～人はなぜ酒を飲むのか～」

応用生物学科学部醸造科学科、穂坂賢教授を講師に招き、「食と農に関する身近な話題」を提供する講座を開催。図書館での開催が、大人の調べ学習につながります。

□ 講座「農大市場を知る」

東京農大の学生によるベンチャー企業である株式会社メルカード東京農大についての講座を開催します。以前は講師に株式会社メルカード東京農大代表取締役である豊原秀和教授をお招きし、「農大市場」とは何かという話から、学生ベンチャー企業ならではの苦労話も織り交ぜながら、主にメルカードの代表的な商品である「カムカム」についてお話いただきました。引き続き連携講座を実施してまいります。

□ 講座「生き物の色の意味を考えよう」

東京農大で研究開発した「カラフルザリガニ」を通して、生き物にとっての色素の役割や外来種生物の真相、食物連鎖の仕組みなどの事例を紹介しながら、みて触れて体験する講座を教職・学術情報課程の武田晃治教授に講義いただきました。

今後も図書館と東京農大が協力して、子どもから大人にまで関心の高いテーマを分析し、調べ学習や読書活動のきっかけとなる事業を企画してまいります。



東京農大武田教授による「生き物の色の意味を考えよう」

2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

② せたがや子育てネットとの連携事業

子育て中の保護者とお子様への支援として、「読み聞かせと子育て交流会」を実施します。区内のNPO法人「せたがや子育てネット」との連携事業として、地域子育て支援コーディネーターが出張し、保護者の子育ての悩みに応じたり地域の子育て情報を提供することで、保護者同士の交流を深めます。

また、現在は外に出かける機会が少なくなり、より地域ぐるみの子育てで支援が望まれます。今後図書館では、地域子育て支援コーディネーターに相談できる出張相談会や、図書館で「せたがや子育てネット」のイベント情報の提供、子育て講座の開催などを行います。

読み聞かせと子育て交流会

③ 編集工学研究所

地域の読書推進活動として「本を読んでも忘れてしまう」など、読書の悩みを解決する「目次読書法」を体験し、読んだ本を紹介するポップを作成するワークショップを行います。また、区内に所在する編集工学研究所で学んだスタッフが、「魅力ある棚編集」を実践し、これまでのテーマ展示にはない「新しい情報の組み合わせ」を工夫し、利用者の新鮮な発見を促す展示を行います。

目次読書ワークショップ

④ 大宅壮一文庫

大宅壮一文庫は、明治時代以降140余年の雑誌、1万2千種類・80万冊を所蔵する、歴史ある雑誌専門の図書館で、多くの方に活用されています。このような文化的価値の高い施設と図書館が連携し、それぞれの特性を活かした連携事業を行うことで、区内の文化的資源を多くの方に知ってもらうことができ、好奇心を刺激して、新たな利用者の発掘につながります。

□ 図書と雑誌の連携展示

図書館のテーマ展示を図書資料だけでなく、関連した雑誌記事とあわせて展示することで、それぞれの特性を活かした展示を行います。また、経堂地区だけでなく世田谷区に関する古い雑誌記事から地域の歴史を紹介するなど、区内に所在する雑誌の図書館を広く周知するとともに相互に連携を行います。

大宅壮一文庫所蔵雑誌記事
を活かした特別展示



2 事業提案書

② 地元商店街や学校教育（学校図書館）との連携強化等による地域に根ざした図書館の取組み

□ 雑誌記事を活用した回想サロン

大宅壮一文庫との連携で、懐かしい雑誌記事を紹介する回想サロンを企画します。参加者同士が懐かしい思い出を語り合うことで脳が刺激され、精神状態を安定させる効果が期待されます。当時を振り返り、共通の話題を楽しむコミュニティの形成を促します。



⑤ 地域×SDGsへの取組み

□ 「世田谷区清掃・リサイクル部事業課普及啓発

家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に提供するボランティア活動である「フードドライブ」の受付窓口として、図書館が協力します。

世田谷区のフードドライブ活動に参加し、食品ロスの削減と有効活用に協力するため、図書館内で集まった食品を地域のフードドライブ活動団体に寄付します。合わせて、館内でSDGsの啓発展示を行います。



SDGs特集展示

□ 障害者福祉施設×商店街×経堂図書館

図書館で商店街のSDGsへの取組みを周知するイベントや、東京農大のSDGsに関連した講座などを開催します。イベント参加者には障害者福祉施設製作のエコバッグを配布します。商店街での買い物にエコバッグを使用していただくなど、商店街と福祉施設と図書館が連携して地球環境保全に向けた啓発を行います。



障害者福祉施設製作のエコバッグ